

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 新松戸第2教室

保護者等数(児童数) 14 回収数 13 割合 92%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13				とても広いと思います	広い分、死角ができてしまうので、事故がないように注意する	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1		1	普段の活動の様子を動画で見られるとうれしい	職員紹介を懇談会やお便りでお知らせ	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10		2		特に危ないと感じたことはありません 目で見てわかるように工夫されています	個々の特性、視覚的な情報、構造化などを配慮して環境設定している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11		1		安心して過ごしています	清潔で安全な環境を意識している	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10		1	1	児童発達支援計画の説明が遅い	期日を守って説明をする	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10		1	1	ガイドラインは良くわかりませんが、丁寧に説明してくれています		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11			1	短期・中期の目標があると良い	目標は短期、長期に分けて作成しているので、より丁寧に説明していく	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12			1	色々なところに行ったり、色々なレクリエーションをしています とても楽しみにしています	様々な工夫をおこなっている	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2			4	7	交流する意味が分からない 今後があると良い	個々の必要性に応じて判断する
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12		1		丁寧に説明してくれました	行っている	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9		1	1	2	しっかりと目標を作って作成されています	丁寧にしている
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9		1	1	2	次回も楽しみにしています	定期的にも実施している 今後も外部講師などにも参加してもらい、保護者支援を拡大する予定がある
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11		2			送迎の時や面談の時に、情報交換を良くしています 写真などで活動の様子や子供の表情が見られてありがたい	送迎時に保護者様にお会いできない児童は、LINEや電話でお伝えする
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11		1	1		相談しやすい	定期的なものは個別支援計画の面談が主になっている 日常的な支援は行っている
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10		1		2	未参加のためわからない 特性が違うから何をすべきかわからない	懇談会やこぼんGAFEを行っている
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12		1			きちんと対応してくれている	なるべく迅速に対応している 情報共有もしている
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12		1			ラインなどの体制も整備できている	LINE等の活用
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12		1			定期的なお便りも楽しみにしています	定期的にお便りを作って配布している またネット上の発信も行っている
非常時 等の 対応	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	12		1			良くわかりません	個人情報の保護に注意している
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11			2		されていると思うが、どのような訓練をしているのかわからない マニュアルを見たことがない	様々な場面を想定して行っている 回数をもっと増やす
	21 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9		2		2	レクリエーション表に訓練日が記載されていました	行っている
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	12			1		大好きな先生がいるのでいつも楽しみにしています	より楽しく通所できるように工夫していく
	23 事業所の支援に満足しているか	11		2			行き送迎が遅い時がある(月1) もう少し早く来てくれたら大満足。 通うようになってから、日々の成長がみられて 喜びが多い	満足度100%を目指します

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 新松戸第2教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			広すぎて児童の所在を見失うことがある
	2 職員の配置数は適切であるか	4	2	調整している	一般的には数は足りているが、子供の特性では配置されていない 今後児童が増えたら送迎などが難しくなる
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		スロープあり	バリアフリーになっている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	2	子供の体格に合う椅子や机を使いたい	児童にあったものをそろえる
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		研修やカンファレンスを行っている
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	現場だけでは解決できないこともあるので、組織全体で取り組む必要がある	一体となって取り組んでいく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		インスタやブログをやっている	周知をしている
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		月に1回研修がある	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1	なるべく抽象的な文章ではなく、客観的な表現であったり、目標設定をしている	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		アセスメントツールを利用しているが、改善項目もあるように思う。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		あまり意識してガイドラインを説明していないが保護者の方にもわかりやすく説明する
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		職員全体で関わっている 全員が意見を出している	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		みんなで出し合っている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1		必要に応じ、個別の対応に沿った目標の設定
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	たまにしかしていないが、普段からの会話で話している ヘルプの先生が来てくださったときに伝えられなかった	朝礼で打ち合わせを行う 時間的に難しい場合は、前日までに行う
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		日常的に意見交換している 書類も作っている	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		職員全体がやっているわけではない	児発管から職員に説明などをしていく
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	3		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	3		連携はしていると聞いているが、ドクターにお会いしたことはない
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1			

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	兄弟なども参加できるイベントは開催している	公園活動や、お買い物、地域行事の参加などをすすめる
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約時などに行っている 質問があった場合は常に対応している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		相談があった場合のみでなく、こちらからも保護者様にお声がけをしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		こぼん'sCAFE	開催していることを周知する 継続していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		なるべく迅速に対応してる	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		インスタグラム	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		注意している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		普段の活動に組み入れて実施している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		回数が少ないので、もっとおこなう
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		アレルギー薬などの作成 研修もしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		もう一度確認が必要
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			報道相を徹底して行う
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		外部研修に参加しており、所内で伝達研修も行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	3	身体拘束を行っていない	同意書などが必要 説明を丁寧に行う